

古代マヤはい
もはや謎の文明ではない

III International Symposium on
the Ancient Maya in Japan
Recent Interdisciplinary Research in
Maya Archaeology

岡山大学創立70周年記念
第3回国際マヤシンポジウム

異分野融合で見える最先端のマヤ考古学

一般公開

使用言語：日本語 英語 スペイン語 逐次通訳あり

期間：2019年12月13日(金)～12月15日(日)

場所：岡山大学 津島キャンパス

13日(金)～14日(土)： 文法経講義棟2階 24番教室

15日(日)： 総合研究棟2階 共同研究室

URL: <https://mayaokayama.wixsite.com/3rdmayasimp>

左のQRコードを読み取って直接アクセスが可能です。

文部科学省

平成30年度卓越研究員事業

岡山大学社会文化科学研究科
文明動態学研究センター

高等研究院 名古屋大学



主催：岡山大学大学院社会文化科学研究科文明動態学研究センター、名古屋大学高等研究院

共催：金沢大学人間社会研究域附属国際文化資源学術研究センター

後援：おかやま観光コンベンション協会

岡山大学研究協力部、岡山大学大学院社会文化科学研究科

協力：古代アメリカ学会、新学術領域研究「出ユーラシアの総合的人類学」

1 日 目 2019年12月13日(金) 10:30~18:30

10:30~10:45 開会挨拶 岡山大学大学院社会文化科学研究科長 文明動態学研究センター長 釣雅雄

異分野融合アプローチによる先端考古学：ミュオン透視～放射性同位体分析

- 10:45~11:45 森島邦博(名古屋大学)他
「宇宙線によるマヤの神殿ピラミッドの非破壊イメージング
-ホンジュラスのコパン遺跡を対象とした調査研究-」
- 11:45~12:45 中村誠一(金沢大学)
「コパン王朝史を解き明かす:最新調査成果から見た古典期前期のコパン」
- 12:45~14:00 昼休
- 14:00~15:00 市川彰(名古屋大学)
「チャルチュアパからの手紙
-C14年代からみた新カミナルフユ編年案とマヤ南部地域の社会過程の再考-」

先端分析技術による石の研究：ヒスイ～黒曜石

- 15:00~16:00 飯塚義之(台湾中央研究院/金沢大学)他
「ポータブル蛍光X線分析と走査型電子顕微鏡観察による石材の研究」
- 16:00~16:15 休憩
- 16:15~17:15 青山和夫(茨城大学)
「黒曜石製石器の蛍光X線分析と金属顕微鏡による石器の使用痕分析：
グアテマラ、セイバル遺跡の事例研究」
- 17:30~18:30 質疑応答

2 日 目 2019年12月14日(土) 10:00~19:00

考古人骨研究の新たな展開：バイオアーキオロジー

- 10:00~11:15 キャロライン・フレイワルド(ミシシッピ大学) & ダグラス・プライス(ウィスコンシン大学)
「メソアメリカにおける同位体、居住の歴史と移民の研究」
- 11:15~12:30 ベラ・ティスラー(ユカタン自治大学)
「神々に力を：メソアメリカ東部における人身供儀と遺体の儀礼的加工に関する
バイオアーキオロジー」
- 12:30~14:00 昼食&学内見学(岡山大学考古資料展示室)
- 14:00~15:00 鈴木真太郎(岡山大学)
「古代マヤ文明南西周縁域の広域考古人骨研究：移民と戦争について」

広域に渡る考古学：広域レスキュー考古学～広域ライダー測量

- 15:00~16:15 エクトル・メヒア(トレクサ社)
「過去を救う：考古研究における重要なツールとしてのレスキュー考古学」
- 16:15~16:30 休憩
- 16:30~17:45 マルチェロ・カヌート(チューレン大学)
「ライダー技術と古典期マヤ低地の集団規模：新たな資料と新たな挑戦」
- 18:00~19:00 質疑応答

3 日 目 2019年12月15日(日) 13:00~18:30

古代マヤ世界への招待

- 13:00~14:15 トマス・バリエントス(デルバジェ大学)
「マヤ考古学史：200年に亘る研究の歴史」
- 14:15~15:30 ボリス・ベルトラン(サン・バルトロ-シュルトウン広域考古学プロジェクト)
「サン・バルトロ遺跡における壁画の発見と保存へ向けた取り組み」
- 15:30~16:00 休憩
- 16:00~17:15 フェリックス・クップラト(メキシコ国立自治大学)
「コミュニケーションの考古学：マヤ神聖文字の研究ができること」
- 17:30~18:30 質疑応答
- 18:30 閉会挨拶 名古屋大学高等研究院長 周藤芳幸